

# 県教育委員会交渉 (春闘回答)

5月12日(木) 県総合教育センター

今年度初めて県教委交渉に臨みました。県教組が重要視している課題について、教育現場の実態を織り交ぜながら、具体的に要望を伝えました。

荻布教育長は、「先生方には、コロナ禍への対応やGIGAスクールへの尽力について感謝申し上げます。今後も、先生方の声を聞かせていただきたい。県教委として、多忙化解消や働き方改革を含め、誠意をもって対応していきたい」と、前向きな姿勢を示しました。

県教組は、子どもたちにとっても、教職員にとってもよりよい教育環境となるよう、県教委との交渉・意見交換を継続していきます。



荻布 佳子 教育長



教育長に申し書を渡す相澤執行委員長 (左)



現場の実情を伝える布瀬書記長

### 【申し入れの概要】

- ・高校入試の調査書や願書等、提出書類の簡略化、推薦選抜の見直し、保護者によるインターネット出願、「学びの体験オープンハイスクール」の生徒による高校への直接申込等による見直しをすすめ、中学校教員の業務負担軽減を！
- ・異動内示の早期化、1学期の始業式を4月10日頃実施により、年度末や年度初めの準備時間確保を！
- ・地域手当の全県一律支給を！
- ・県教委・市町村教委研修、小中教研研修、学校訪問研修等の研修の見直し、リモートの活用、研修時間の上限設定等による教職員の負担軽減を！
- ・県独自予算による小学校専科教員、スクール・サポート・スタッフ、SC、SSW、県立特別支援学校の給食配膳員等の増員を！
- ・県独自予算による小中学校の30人以下学級の実現し、特別支援学級・特別支援学校高等部の定数を6人に。学級数増に伴う教員の増員を！

## 5.15沖縄平和行進

参加者 水島 智征

コロナ禍ではありますが、感染拡大抑止に努めながら「5.15沖縄平和行進」に参加してきました。テレビやネットで、ロシアとウクライナの戦争の悲惨さを目の当たりにする日が続く中、本土復帰50周年をむかえた今回の平和行進は「平和」について深く考えさせられる契機となりました。

ガマとよばれる鍾乳洞に避難した島民による命の選択や現在も残り続ける米軍基地問題について、現地の方や戦争体験者の話を聞く機会がありました。そこでは、あたり前のように享受してきた「平和」という存在が、たくさんの人々の努力によって作り出されているものであることを再認識させてくれました。

私たちの周囲にも、ロシアとウクライナのように戦争になってしまう関係がないとは言いきれません。安心・安全に暮らせる「平和」な時代を続けるために、一人ひとりが「平和」について考え、「争い」を起こさないための努力をしていきたいと強く思いました。



ガマを訪問する参加者

参院選富山選挙区 立候補予定者 富山県教組 推薦

# やま 山としひろ

(立憲民主党)

愛知県で塾経営の経歴あり！



子どもの育ちをとことん応援します！

顧問弁護士による 法律相談 (無料) を行っています

県教組は、一昨年度から顧問弁護士と契約を結び、法律相談等を組合員が無料で受けられるようにしました。お困りのことがある方はお気軽にお問合せください。

- ・相談内容は、労働問題に限らず、生活や家族にかかわることなど広く承ります。
- ・専従役員には内容を話す必要はありません。直接、弁護士に相談できます。
- ・相談は随時受け付けております。
- ・組合員確認のため本部に連絡のみいただけます。

富山県教職員組合 076 (441) 4451

# 富山新教育

2022 6.15

No. 1779



発行所

〒930-0018 富山市千歳町1丁目 教育会館内  
富山県教職員組合  
TEL(076)441-4451 FAX(076)441-3910  
Eメール ttu@room.ocn.ne.jp ホームページ www.ttu-toyama.com  
毎月15日発行 (パスワードページは [yaranmaike] と入力)  
定価1部30円 (郵送料別) (組合員の購読料は組合費に含む)

## 組合加入ラッシュ!!



2人の新規加入者を迎えた伏木小分会のみなさん

県教組は、参院選比例代表 立候補予定者 古賀ちかげさんを推薦します!

古賀ちかげさんは、子どもたちのためによりよい教育の推進をめざして活動しています。ぜひ古賀ちかげさんを応援し、私たちの声を国会に届けましょう!

### 古賀ちかげさんの 3つの政策

- 子ども** 子どもが安心して学び続けられる制度の充実
- 暮らし** だれもが安心してくらするよう労働条件等を改善
- 平和** 平和・人権などの憲法理念が活かされる社会



古賀ちかげ (立憲民主党)

参議院議員の水岡俊一さん(下右横写真)は、国会で教職員の働き方について質問を行い、その結果、教員免許更新制が廃止となりました。教職員の意見を届ける国会議員は必要です!



古賀さん、水岡さん対談 9分間の動画です

## 教員免許更新制廃止決定!

詳しくは配布済みの日教組教育新聞をご覧ください。

この富山県教組情報宣紙「富山新教育」は、新採の方全員に配布しています。

# 第145回定期大会 5月29日(日) ポルファートとやま

3年ぶりとなった対面開催の定期大会に、114人の代議員が参加し、現場の実態をもとに多くの意見が出されました。書面審議のよさも取り入れ、事前に各分会から議案に対する質問・意見を出していただき、それに対する執行部見解をもとにした議論をしました。運動方針を決定し、団結して県教組運動をすすめていくことを確認することができました。

## 運動方針に関する質疑、討論など



### 教員免許更新制廃止について

意見：免許更新制廃止に伴い、新しい研修制度が入ると聞いている。自主的な研修も認めてほしい。

見解：免許更新制廃止にともなった研修が過重にならないようしっかりと訴えていく。日教組とともに、自主研修も入れた研修記録となるよう申し入れていく。

### 「全国学力・学習状況調査」について

意見：春の忙しい時期の全国学調は子どもにも負担。練習問題をしてから学力調査に臨むことが当たり前になっており、趣旨と違う。市の学力テストとも重なる。日教組を通して国に見直しを訴えてほしい。

見解：分析結果が出るのが遅く、その時の子どもに生かされないことなど、問題点が多い。分会のアンケート調査を実施中であり、その結果を日教組に伝え、全国学調見直しにむけとりこんでいく。

### 休日の部活動地域移行について

意見：運動部顧問だが土日のうち1日は休み、練習時間も短くなり、家族と過ごす時間が増えた。それまでは、自分の子どもを放っておいていた。休日の部活動地域移行はどんどんすすめてほしい。

見解：地域移行のよい事例、とても参考になった。休日の部活動地域移行は、しっかりとすすめるよう訴えていく。兼職兼業の問題も含め、部活動指導に一生懸命とりくみたい方々の希望もしっかりと伝えていきたい。中学校の先生方の意見を募りたい。

### 特別支援学校での課題について

意見：長時間労働の時間数は小中学校よりも短い、中堅教員が少なく、特別支援の専門性の高い一部の先生に業務が集中していることが問題。初任者は2～3年で、高校に異動してしまう状況を変えてほしい。

見解：県教委交渉でも、特別支援学校免許保持者が増えるようとりくむとの回答を受けた。さらに特別支援学校免許保持者を増やし、中堅教員が特別支援学校で勤めてもらえるようとりくみを県に訴えていきたい。

### スタディメイトの処遇について

意見：週4回の勤務の場合はボーナスが出て、週3回の場合は出ないため、勤務が週3回に抑えられている。先生方の負担が増えているとともに、子どもにしわ寄せがきている。

見解：状況を調査し、現場の負担を県、市町村に訴えていきたい。



### 特別支援コーディネーターの専任化について

意見：学校で支援学級在籍が26人で4クラス。最大1クラス8人の状況であり、ゆきとどいた教育ができない。一定規模以上の学校で特別支援コーディネーターを専任化しよう求めている。

見解：1クラス8人は安全を守るのに精いっぱいであり、支援員が必要であるとする。コーディネーター専任化は県教委交渉の要望事項に入れるかを含め検討していく。



大会宣言発表



### 中学校35人学級について

意見：中学校で39人の学級があり、教室がいっぱいの実態。ぜひ中学校35人学級に向けて署名を集めて実現してほしい。産育休などで休みに入る方が多く、少人数の先生がピンチヒッターになるなど人が不足している。働き方改革推進、正規教員を増やすなど、ぜひ日教組に声をあげてほしい。

見解：中学校の実態を伝えていただいた。ぜひ中学校35人学級にむけて日教組とともに訴えていきたい。人が足りない実態も改善すべく、定数改善も含めた人員の確保について、訴えていく。

### 組織拡大について

意見：コロナ禍以降、本部業務をしながらの分会訪問は大変だと思う。各県の情勢を集めるなど、広い視野でもらいたい。声をかけるのは分会、地区の役員であり、声かけをしてもう一押しの際に足を運んでいただきたい。情勢をその時に聞かせてほしい。

見解：組合員を誘うには分会のとりくみが重要である。今年度50人を超える加入を得ているのは、分会の皆様の声かけのおかげである。ぜひ声をかけてほしい。県教組も後支えをしていく。



議長のみなさま

### その他

- ・校則の見直し署名
- ・学校統廃合
- ・学校訪問研修の隔年化
- ・会計年度任用職員の時給が上がったことによる時間制限
- ・持ち帰り業務を時間外勤務時間に入れること
- ・多忙解消会議の内容を校長会で伝えられるように
- ・改憲反対の署名
- ・標準時数についてできなかったところを次年度に持ち越した事例
- ・平和運動について 等の質問、意見がありました。

### 審議結果

- ◎経過報告・会計報告・監査報告……………承認
- ◎第1号議案(2022年度運動方針案)……………可決
- ◆修正案 富山地区教組  
「II教育行財政政策と運動」……………否決
- ◆修正案 高岡地区教組  
「I憲法と民主主義をめぐる運動」……………否決
- ◎第2号議案(2022年度一般会計予算案)……………可決
- ◎第3号議案(非専従役員の承認)……………承認

## 分会抽選会



今回初めての企画として、定期大会後「分会抽選会」を行いました。抽選で分会名が読み上げられる度に、会場は大いに盛り上がりました。

当選した10分会のみなさん、特約店の美味しいお菓子など、分会組合員全員分お持ちします。お楽しみに！

